

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表： 2023 年 2 月 15 日

事業所名：こどもサポート教室「きりり」草津駅前校

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			・パーティションで区切ったり、個室を使用するなどして対応している。
	②	職員の配置数は適切であるか		○		・普段より人員が少ない場合は事前に役割の確認を行い、柔軟に対応できるようにしている。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか			○	・入室時の階段やトイレに段差があるため声を掛けたり場合によっては手を添えるなどしてフォローしている。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか		○		
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			・公開している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			・録画視聴を活用しながら研修を受けている。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・職員と保護者、職員同士の話し合いにより良い計画を検討できている。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			・会社規程のものを使用している。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			・職員間で相談や話し合いが出来ている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			・他の職員にプログラム案を相談している。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			・都度必要な支援内容や課題を職員間や保護者と共有しながら支援内容を設定している。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・主に個別支援だが、集団活動を想定した内容を取り入れたりしながら計画を作成している。

	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか		○		・職員が揃う時間に打ち合わせを行うようにしている。また、事前に打ち合わせを行うなどしている。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○		・終了後、必ずではないが必要に応じて情報共有を行っている。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			・支援記録の徹底と適宜確認しながら支援内容を検討している。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			・定期的にモニタリングを行い、計画の見直しを行っている。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	○			
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか		○		
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			・保護者を通じて学校の予定を把握している。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		・必要に応じて対応している。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○		
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○		・現在該当者なし。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			・外部研修に参加している。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○			・定期的に地域の自立支援協議会に参加している。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			・校舎ミーティングや個人間で共有しながら共通理解を持っている。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			・活動の振り返り時にアドバイスとしてお伝えする事がある。

保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			・見学、体験、契約時に必要に応じて説明を行っている。
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			・適宜保護者様から相談があった場合は対応して助言や支援を行っている。
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	・現在行えていないが、機会を見て開催できるように準備を行うようしている。
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			・体制の整備は契約時重要事項説明書に記載がある事を伝えている。実際に苦情があった場合は適宜対応している。
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか			○	・事業所のブログがあるがあまり発信できていない。
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	○			・個人ファイルは鍵付き倉庫に保管し、目につかないよう注意している。
	③⑯	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			・絵カードを用いることがある。
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	・積極的に行えていない。
非常時等の対応	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか			○	・各マニュアルは策定しているが周知は十分でない。
	③⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			・定期的に防災訓練を実施している。
	④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			・定期的に研修を行っている。
	④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			・身体拘束について契約時に説明を行っている。
	④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			○	
	④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			・状況に応じて作成し、共有している。

保護者等向け 放課後等デイサービス評価の集計結果（公表）

公表： 2023年 2月 15日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」草津駅前校

保護者等数（児童数）：26 回収数：18 割合：69%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見、ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	14	4	0	
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	18	0	0	
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	5	10	3	・入口入っての階段は厳しい面がある。 ⇒声掛けや場合によって手を添えながら安全に上り下りできるようにする。
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画 ⁱ が作成されているか	18	0	0	
	⑤	活動プログラム ⁱⁱ が固定化しないよう工夫されているか	17	1		
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0	4	14	・分かりません。 ⇒市内の施設案内を置いたり、イベントがある際のチラシの掲示などは行っているため、分かりやすいように掲示など行うようにする。
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	18	0	0	
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	18	0	0	
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	18	0	0	
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	0	5	13	・個別で対応されている。 ⇒今後ママカフェなどの保護者同士の交流ができる場を設定していけるようにする。 ・父母の会、保護者会等の活動があっても、参加が難しいと感じています。 ⇒開催する際は時間帯や集まる方法等提示して参加しやすい方法を検討していく。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、	13	5	0	

		苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか				
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	18	0	0	
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	7	9	2	
	⑭	個人情報に十分注意しているか	14	4	0	
非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	10	8	0	・実際のところ、わからない。 ⇒契約時に周知できるよう説明したり、防災訓練のアナウンスの際に提示する等周知を図るようにする。
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	4	11	3	・分からない。 ⇒防災訓練の日時の掲示など分かりやすいようにする。
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	17	1	0	・毎回楽しく通わせて頂いています。 ありがとうございます。 ⇒「楽しい」と思ってもらえるような支援を今後も提供していくようにする。
	⑱	事業所の支援に満足しているか	17	1	0	・個別なので、日々出てくる細かい課題も相談出来て助かっています。 ⇒利用者の支援だけでなく、保護者様にも相談対応していけるように今後も支援を行っていく。

i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

ii

事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。